福島市小鳥の森通信

しじゅうから

2026
11
No.482

いきもの豆ちしき

小鳥の森では園内にどんな中・大型哺乳類が生息、または未確認のものが確認されるのかをセンサーカメラ（自動撮影カメラ）を使って調査しています。みなさんは森の中にどんな生き物が住んでいるかご存じでしょうか。哺乳類は基本的に夜行性で、日中に姿を見られることがほとんどないため、何が住んでいるか知らない人も多いと思います。

センサーカメラを設置している場所は哺乳類が利用しやすい水辺や来園者が利用しない作業道など全部で6か所。

結果から発表すると、ニホンリス、ネズミ類、ホンドタヌキ、ニホンアナグマ、イタチ類、ニホンイノシシ、ニホンカモシカ、ハクビシン、アライグマの計9種もの哺乳類がカメラに写り込んでいました。

ホンドタヌキ

ニホンアナグマ

ニホンイノシシ

ニホンカモシカ

ハクビシン

アライグマ

センサーカメラを設置して一番驚いたことは、アライグマがたくさん写っていたこと。他の哺乳類はこれまでも確認はされていましたが、アライグマがこんなにもたくさん写るとは想像以上でした。アライグマはニホンアカガエルなどの卵塊も食べてしまったり、野鳥の巣を襲うこともあるので、今後が心配です。今後もセンサーカメラ調査は継続し、引き続き、どんな哺乳類が生息しているのか調査を続けていきます。

イベントあるよ

※いずれも電話にて11/1より受付します。

●落ち葉であそぼう
落ち葉を見て触って、秋を感じよう
日時：11月28日(土) 10:30～11:30
対象：幼児と保護者
定員：5組
持ち物：長袖、長ズボン

●野鳥の巣箱作り
杉板で巣箱作りをします
日時：11月29日(日) 10:00～12:00
対象：小学生以上
定員：5組(1組につき巣箱1個)
持ち物：軍手、材料費(700円)

しじゅうぴークイズの答え：②カモメ
名前にカモが付いているが、カモメ科の鳥。諸説ありますが幼鳥の羽衣が籠の目に似ているからそう呼ばれるようになった。

森の宝物探し（たからもの）

小鳥の森で宝物（自然の中の生き物）を見つけることができたらオリジナル缶バッジをプレゼントしています。その日に見つける宝物が何かをネイチャーセンターで確認して、写真を撮ってレンジャーに見せるとミッションクリア！

今月の生き物はコレ

マガモ(メス)（カモ科）

そろそろ冬鳥が飛来している時期ですね。皆さんはどんな水鳥が好きでしょうか？阿武隈親水公園でもオナガガモの中にまぎれて、見られることがたまにあります。マガモのオスはとても鮮やかなカラーリングをしていますが、メスは全体的に褐色で、あまり目立たない色味をしています。一見すると、カルガモに似ていて見間違えることもあるかもしれません。見分け方のポイントは、まずくちばしを見ましょう。くちばしが黒く先端が黄色ならカルガモ、全体が橙色で上くちばしに黒い部分があるのがマガモのメスです。その他にも目を通る線が濃い方がカルガモで、マガモの顔は全体的に細かな斑模様があります。親水公園に行ったら、ぜひ、これらのことを参考に見分けてみてくださいね。

マガモの鳴き声は「グェッグェッ」といかにもカモの鳴き声です。鳴き声も大きいのでよく聞こえます。

この他のマガモについての紹介は、昨年の11月号No.471にも書いてありますので、バックナンバーもご参考に。

しじゅっぴークイズ

この中でカモじゃない鳥はどれでしょう？

①マガモ　②カモメ　③オシドリ　④カルガモ
⑤オオハクチョウ

しじゅっぴーのつぶやき

植物の種はどうやって運ばれる!?

実りの秋も最盛期を迎えている小鳥の森には、今、様々な種が実っています。一言に種といっても、様々な形状をしていて、みな一様ではありません。そして、その運ばれ方も植物によって多種多様です。今回は、そんな種の運ばれ方に注目したいと思います。

まず、種は主に3種類の運ばれ方に分けられます。そして種がまかれることを「散布(さんぷ)」と言います。

かぜ 風 散布

風の力を借りて種を遠くに飛ばします。種には、綿毛がついていたり、翼がついていたりして、飛んでいきやすい構造をしています。

ススキ

種に翼があり、これを翼果(よくか)という。

マツボックリ

モミジ・カエデ

ちょう 鳥 散布

鳥が実を食べ、種が消化されずにフンと一緒に出されて、遠くへ運ばれていきます。

ナツハゼ

リョウブ

アオハダ

どうぶつ 動物 散布

種子がネバネバしていたり、マジックテープの様になっていたりして、動物の体にくっついて、別の場所に運ばれます。

チジミザサ

キンミズヒキ

ヌスビトハギ

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター）
≪入場無料≫休館日：毎週月曜日
（祝祭日の時はその翌日）
開館時間：午前8時30分～午後5時

最新情報はこちら

Instagram　旧ツイッター　ホームページ

福島市小鳥の森通信「しじゅうから」2026年11月号No.482／企画・発行：福島市小鳥の森（指定管理者 NPO法人野鳥の会ふくしま）